



明德の風

TEL:0823-56-0205 FAX:0823-56-0221

E-mail: mtk@kure-city.ed.jp

ホームページ: <https://www.kure-city.ed.jp/~mtk/>

明德小学校

自他の命を大切にできる 明德っ子に！！

今年度も学校では、出水期を前に土砂災害に備え、様々な防災学習に取り組んでいます。

平成30年7月豪雨災害では、本校の校区でも土砂災害や浸水による大きな被害があり、尊い命も失われました。災害はいつ、どこで起きるかわかりません。子供達が一人にいるときに起きるかもしれません。あれから8年がたちますが、この豪雨災害を教訓として「自分の命は自分で守る」ことができるように、自分たちの住む地域の災害リスクについて正しく知り、備えておくことについて、繰り返し学習しています。

6月2日(火)には、3・4・5・6年生が、広島県の防災出前講座を受講しました。災害の怖ろしさ、広島県の土砂災害の危険性の高さ、備えの大切さや避難する際に気を付けることなどを学ぶことができました。

6月5日(金)午前中には、大雨や土砂災害を想定しての垂直避難を行いました。また、午後には、保護者の皆様にご協力をいただきながら、引き渡し訓練を行うことができました。職員は、訓練の際、本番の様々な場面を想定しながら児童の実態に合わせて指導を行ってきました。子供達は、自分達で考えながら、真剣に避難訓練に臨むことができました。

今後も、学級活動や総合的な学習の時間などで、繰り返し、防災学習に、継続して取り組んでいく予定です。「命を守る学習」は繰り返し積み重ねていくことが大切です。ぜひ、ご家庭や地域でも防災について話し合う時間や機会をとっていただき、避難場所・避難経路等の確認を行っていただければと思います。

めいとくトライで、授業研究



3・4年生の研究授業(6/3)



2年生の研究授業(6/24)



6年生の研究授業(7/1)

6月3日(水)に、明德中学校区小中合同研修会を行いました。今回は、広島大学大学院人間社会科学研究科の木下博義教授と呉市教育委員会の林田指導主事をお招きして研修を行いました。

3・4年生の授業を通して、小中学校区の研究テーマ「自他を尊重し、自ら考え判断し、意欲的に自己を表現する子供の育成」について協議をしたり、講話を聴いたりしました。

「見通す→やってみる→振り返る」というめいとくトライの学習サイクルを通して学ぶ子供達について、「子供達だけで、授業を進めていてすごいね。」「自分から話し合って解決しようとしている。」等、肯定的に評価していただきました。

1学期には、他の学年でも研究授業を行いました。それぞれの授業の課題解決に向け、真剣に考えたり、自分の意見を伝えようとしたりする姿を見ることができました。

「音戸の瀬戸 ふれあい朝市」に出演してきました



1～4年生の中から参加可能な子供達で、「音戸の瀬戸 ふれあい朝市」に出演してきました。運動会の「笑顔になあれ！Happiness 玉入れ」で見せてくれたダンスを披露しました。楽しく笑顔で踊る姿に、会場でも笑顔が広がりました。地域と「つながる・かわる」体験の機会が多いと、新たな考えをもつ可能性が高まります。

何でも相談窓口

～体罰・セクハラ等相談窓口～

毎月第3火曜日に「子どもなんでも相談日」を設けています。心配ごとや話したいことがある子供達には遠慮なく来てほしいと思っています。保護者の方もどうぞお越しください。

担当

教頭 的場 教務主任 豊島
生徒指導主事 田川 保健主事 長井

今後の主な行事

— 7月 —

6日(月) 西日本豪雨犠牲者追悼
15日(水) 学期末個人懇談会
16日(木) 給食終了・大掃除
17日(金) 1学期終業式
31日(金) 全校登校日

— 8月 —

19日(水) 5年リンクアップコンサート
24日(月) 全校登校日
31日(月) 夏季休業日終了

— 9月 —

1日(火) 2学期始業式
2日(水) 給食開始
11日(金) 授業参観・学級懇談会

6月29日（月）に音戸町出身の被爆体験伝承者、新谷耕二様をお招きし、5・6年生を対象に平和学習をしました。原子爆弾の犠牲者や被害等について、お話をしてくださいました。高学年向きに言葉を言い換えて、分かりやすい内容でした。

命の大切さや平和の尊さを考える貴重な機会となりました。ご家庭でも、命や平和について考える会話ができるといいですね。

